

実証実験の評価と今後の取組

平成 27 年 11 月から 28 年 3 月まで、センター南・仲町台・北山田駅の各駅に向かう自転車利用の推奨ルートにおいて、自転車の「通行位置」や「押し歩き区間」、「徐行」等の路面標示を設置する「通行ルール見える化」のための実証実験を行いました。

実験期間中、自転車利用者及び歩行者へのアンケート（平成 28 年 2 月 623／全 2000 票）及び通行状況の観測調査（平成 28 年 3 月）により効果の検証を行いましたのでご報告します。



自転車歩行者専用道路



緑道

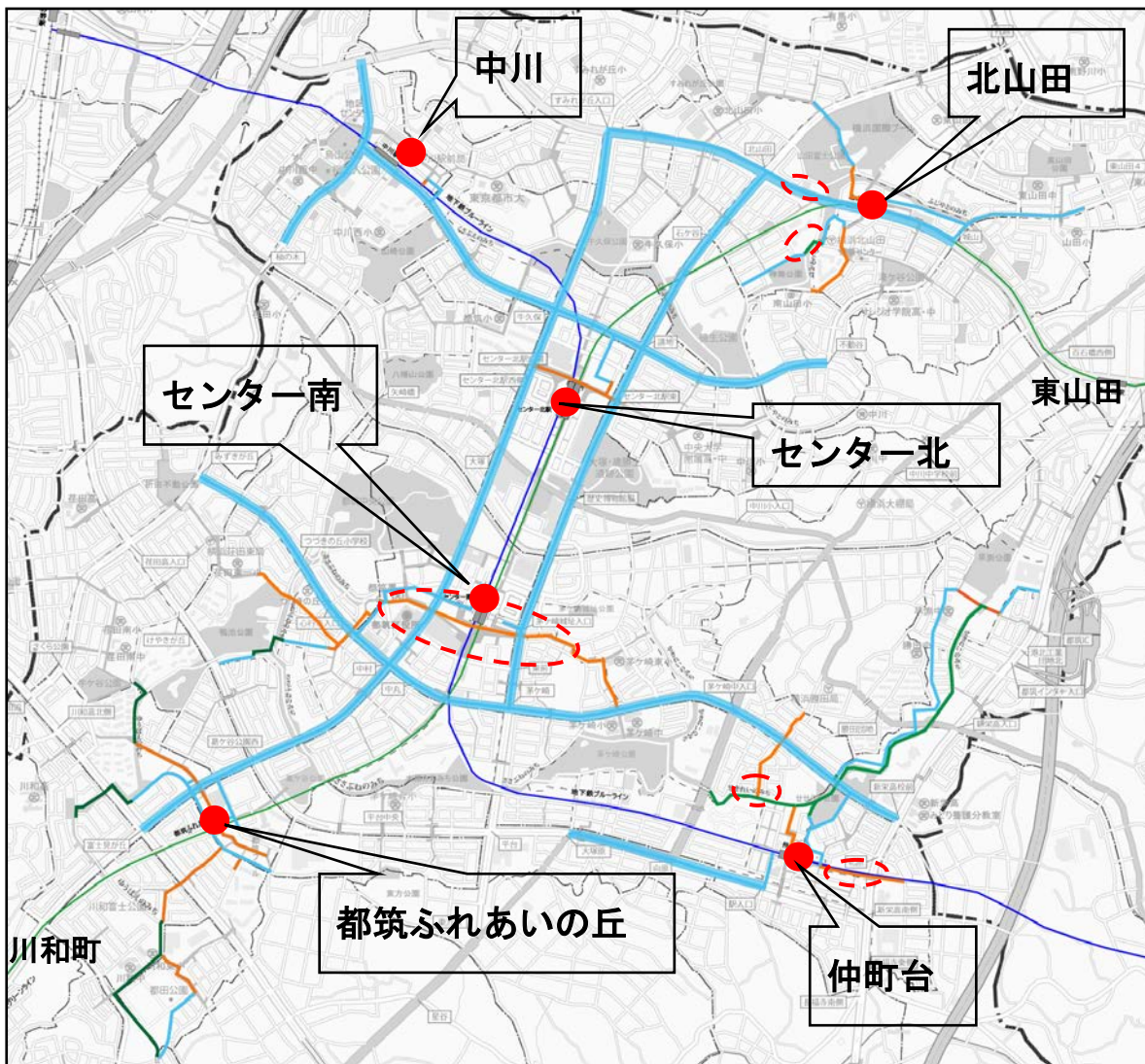
○ 実証実験の評価

- ・自転車の通行位置の明示によって自転車と歩行者の通行が概ね分かれ、自転車と歩行者の錯綜の減少につながり、安全性の向上に寄与した。
- ・自転車利用者の押し歩き遵守率は、約 0～3 割程度と少ないが、以前よりもゆっくり走行するようになった等意識の変化が見られた。
- ・路面標示の大きさや内容については、概ね理解が得られたが、「徐行」や「歩行者優先」については、設置の有無を含め再度検討が必要である。
- ・「特に何も変わっていない」といった声も多いことから、継続的なマナー啓発と事業周知が必要である。

○ 今後の取組

- ・自転車通行の推奨ルートの整備を順次進めていきます。
- ・路面標示の内容や間隔について、より見やすく、分かりやすく修正していきます。
- ・自転車や歩行者の通行マナーの啓発と周知活動を継続的にしていきます。
- ・通行マナー、整備の状況等に関する情報発信により地域の皆様に理解を得ていきます。
- ・実証実験の路面標示等の箇所については、安全性の一定の効果が確認できたことから、当面の間継続していきます。

都筑区の自転車通行の推奨ルート



都筑区推奨ルートの考え方

- ・各駅周辺の推奨ルートを重ねたもの
- ・駅間や区内の幹線道路については、横浜市自転車総合計画を踏まえ今後検討
- ・東山田・川和町駅の周辺については、まちづくりの状況を踏まえ今後推奨ルートを検討

凡例

- 推奨ルート
- 一般（幹線道路含む）
- 緑道部
- 自転車歩行者専用道路部
- 推奨ルート設置駅
- - - 路面表示の継続箇所